



【枝豆とアジサイ】
外で皆様と食べる枝豆は格別！
毎年楽しみにしています。



【オープンガーデン】
日々手入れされたお庭にうっとり。
庭のある家が羨ましいです。



【パターゴルフ】
皆様のハイレベルな戦いに脱帽。
私もホールインワン出したいです。



【ヘルスパレーボール】
「チーム健さん」優勝おめでとう！
賞状は事務所に掲示しています。



【消防操法大会】
日々、仕事が終わってからの
訓練参加に感謝致します。



【作品展】
ふらっと立ち寄り、楽しく鑑賞。
真剣な取り組みに感心します。



【正義のヒーロー】
子ども達と一緒に記念撮影。
名前を覚えてくれて嬉しいです。



【落語鑑賞】
学んだネタは海外でも使ってます。
笑いは世界共通です。



【敬老会】
2度目の東京五輪も観戦でき
るよう、いつまでもお元気に！



【農業まつり】
地産地消は利点ばかり！
一人ひとり心がけましょう。

写真による活動報告



【安倍総理】
議場の外でも個人的な交流を持たせて頂いて
ます。安倍総理—石破幹事長のもとで日本の
抱える課題の一つでも前進させたいと考えます。



【巣箱】
生物多様性の観点
から、子供たちと一
緒に都心に小鳥の
巣箱を設置。



【請願】 萬歳会長よりTPP交渉
における請願書を受け取り。



【流鉄線】
なの花号のさよなら運行を見守り。
多くの人に愛されての引退です。



【花見】
桜を観ながら皆様とひと時。
どこの公園も見事な咲き誇り。



【花火大会】
今年は点火式の大役を拝命。
年々賑わいの拡大を実感。



【被災地視察】
野田市で起きた竜巻被害把握
のため翌日現地に行ってきました。



【農林部会】
米の生産調整の見直しを決定。
連日マスコミからも注目。



【神輿】
年100カ所以上に飛び込み参加。
参加できなかったお祭りが心残り。



【駅頭・街頭】
時間の許す限り、駅や街中に
立ち、皆様のお声を拝聴。



【農業視察】
日本各地が抱える農業の
課題を直接実感。



【海外出張】
環境大臣政務官として国際会議
に出席し交渉。英語でスピーチ。

(続き)
また、政務官時代には、久しぶりに国際会議に出ることも何回かありました。外国の大臣らを相手にしての丁々発止のかけ引きは、大変楽しいものでありましたし、いつも千葉7区で言っているさいとう健の冗談が、世界でも受けることがわかりました(笑)。

10月には政務官を退任し、政府から党に戻って、農林政策の責任者である農林部会長を拝命いたしました。この人事には正直驚きましたし、新聞にも異例の人事として大きく取り上げられました(左面参照)。

今日日本の農政は、大きな転換点にあります。着任するや否や立て続けに、大きな渦に巻き込まれることになりました。まず、40年以上続いてきた減反から生産調整に至る米政策の見直し、民主党政権時代に我々が批判してきた戸別所得補償制度の見直しを行いました。さらには、農地を集約化させるための決定打とも言える「農地バンク」を設立するための法案も国会を通過させ、2013年度中には法律を施行させるべく準備をいたしております。

さらには、TPPに対する対応も差し迫った課題です。6月に向けては、農地規制の見直し、農業生産法人の見直しなどの議論が行われる見通しです。難題山積みの、転換期にある農政ではありますが、せっかくいただいた仕事に全力で取り組んでまいる所存であります。

ただ、一つ悩みは、あまりにこれらの仕事が忙しすぎて、なかなか思うように地元に戻れなくなったことであります。選挙のことを考えると、本当につらい。でも、何とか地元の皆様のご理解をいただいて、働けるポストについているときは全力を尽くそうと決意いたしております。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

『平成二十五年十月三日 朝日新聞朝刊 四面』

農林部会長に元経産官僚

自民官邸主導で起用へ

農業改革推進狙う

農林部会は農業団体や有力者からなる農林部会長の起用が固まった。党の13部会の中でも活発な予算獲得活動などで知られる。部会長だった小里泰弘衆院議員(鹿児島4区)が農水政務官に就任し、農水省の農業政策のまとめ役となる農林部会長に、元経産省の官僚で、「小泉改革」にも携わった斎藤健一氏に起用が固まった。同氏は農政との関わりは薄いとされているが、党内では、農業改革を目指す首相官邸主導の起用との見方が広がっており、農林族議員の間に警戒感も広がっている。

農水省の農業政策のまとめ役となる農林部会長に、元経産省の官僚で、「小泉改革」にも携わった斎藤健一氏に起用が固まった。同氏は農政との関わりは薄いとされているが、党内では、農業改革を目指す首相官邸主導の起用との見方が広がっており、農林族議員の間に警戒感も広がっている。

農水省の農業政策のまとめ役となる農林部会長に、元経産省の官僚で、「小泉改革」にも携わった斎藤健一氏に起用が固まった。同氏は農政との関わりは薄いとされているが、党内では、農業改革を目指す首相官邸主導の起用との見方が広がっており、農林族議員の間に警戒感も広がっている。

自民党の農業政策のまとめ役となる農林部会長に、元経産省の官僚で、「小泉改革」にも携わった斎藤健一氏に起用が固まった。同氏は農政との関わりは薄いとされているが、党内では、農業改革を目指す首相官邸主導の起用との見方が広がっており、農林族議員の間に警戒感も広がっている。

農水省の農業政策のまとめ役となる農林部会長に、元経産省の官僚で、「小泉改革」にも携わった斎藤健一氏に起用が固まった。同氏は農政との関わりは薄いとされているが、党内では、農業改革を目指す首相官邸主導の起用との見方が広がっており、農林族議員の間に警戒感も広がっている。

農水省の農業政策のまとめ役となる農林部会長に、元経産省の官僚で、「小泉改革」にも携わった斎藤健一氏に起用が固まった。同氏は農政との関わりは薄いとされているが、党内では、農業改革を目指す首相官邸主導の起用との見方が広がっており、農林族議員の間に警戒感も広がっている。

☆コラムその2☆
農林部会長とは？

11月30日に、さいとう健が出演したテレビ東京「週刊ニュース新書」によれば、自民党農林部会長とは「農林族議員の指定席であり、農林族の大物たちが、農林省の幹部・全中の人と交えて、これから誰を農林族の政治家として育てていくか相談をして決めており、部会長は将来自民党の実力者の階段を上っていくことになっていたポスト」だそうです。

成長戦略を重視する安倍政権は、「岩盤規制」とされる農協や農地改革をはじめとする農業の抜本改革を重視しており、経産省の立ち位置に近い。政権には、経産省出身の斎藤氏の起用で、こうした改革を進める狙いがあるとみられる。

党内では、政策決定に政権の力が強まる「政高党低」に警戒感が強まる。消費税増税に備えた経済対策では、政権が復興法人税の廃止方針を党への根回しなく決定した。政務三役経験者は「党人事も官邸主導でやられては、党内の不満はたまる一方だ」と話す。

(天津智義、足田多揚)